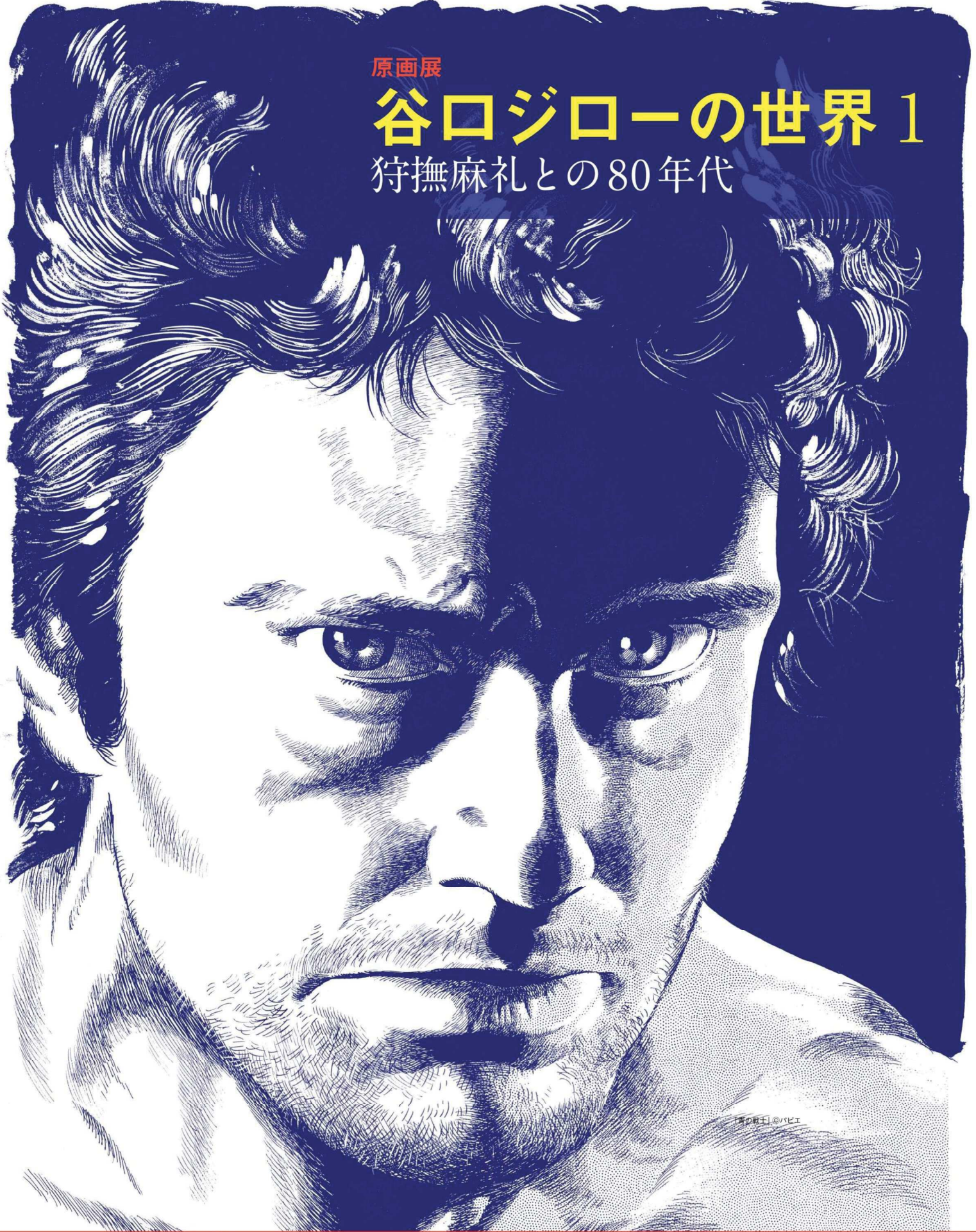


原画展

谷ロジローの世界 1

狩撫麻礼との80年代



「書の戦士」©PAPIER

2019年10月1日(火)~10月20日(日) L'UNIVERS DE JIRÔ TANIGUCHI



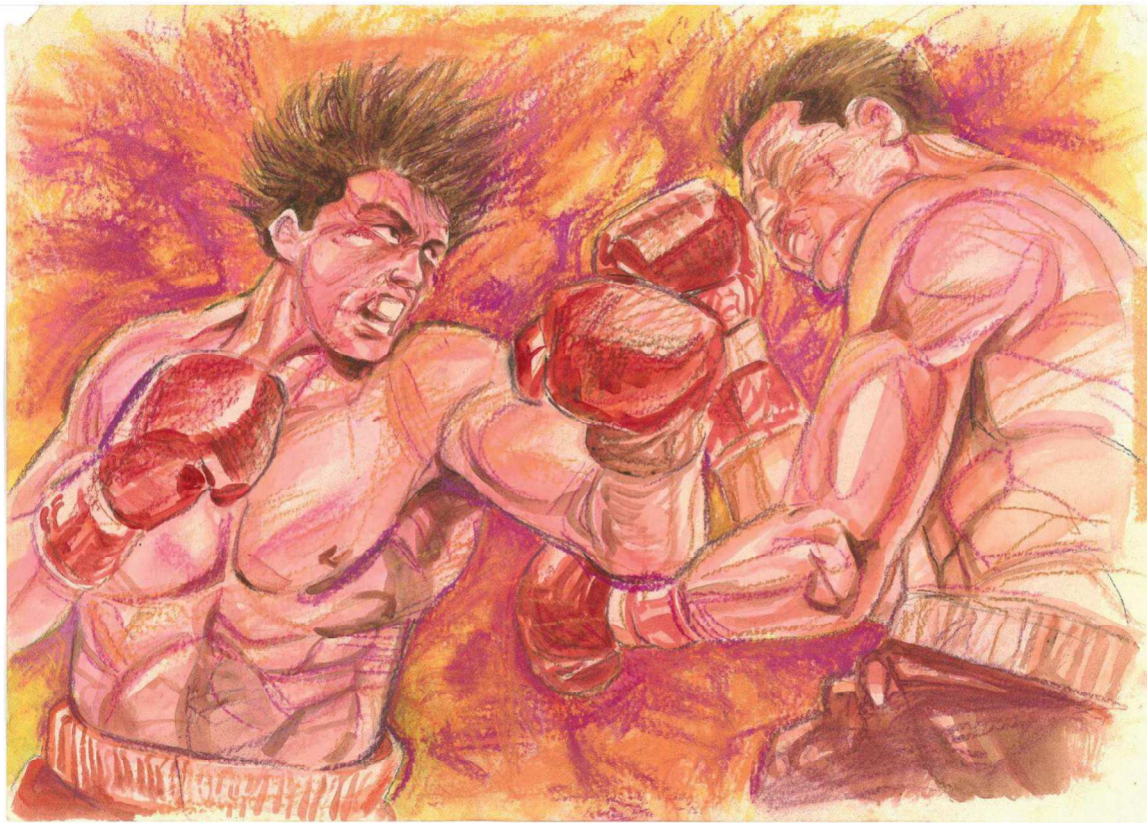
ギャラリー
鳥たちのいえ
Birds' Gallery Tottori

〒680-0031 鳥取県鳥取市本町1丁目201 ミュトスビル TEL:0857-51-0710
●10:00~18:00 観覧無料 ●休廊日:10月7日(月)、15日(火)

主催:鳥取県、株式会社ふらり 協力:双葉社、鳥たちのいえ

2019年度 文化庁 文化資源活用推進事業





「ナックル・ウォーズ」©PAPIER



「ロード・ボーイ」©PAPIER



「LIVE! オデッセイ」©PAPIER

原画展

谷口ジローの世界 1 狩撫麻礼との80年代

SFやハードボイルドの迫力ある画像から市民の日常を丁寧に描く描写まで、幅広い表現で日本のみならず世界で高く評価される谷口ジロー。その画力と表現力は、およそ半世紀前のデビュー当時から見応えのあるすぐれたものでしたが、それが留まることなく進化・発展していきます。

そんな谷口ジローにとって、80年代前半の原作者・狩撫麻礼とのコラボレーションは、一時代を画すものだったといえるでしょう。生涯で最も多作だったこの数年間で、「劇画家」谷口ジローは多くの読者を獲得しました。そして、谷口と同年の新人「漫画原作者」狩撫麻礼もまた、活躍の舞台を確かなものにしたのでした。二人のコラボレーションは4年に満たない短い期間のものでありながら、忘れ難く大きな足跡を漫画史に刻んでいます。

原画展「谷口ジローの世界」シリーズの第一回は「狩撫麻礼との80年代」と題して「青の戦士」、「LIVE! オデッセイ」、「ナックル・ウォーズ」、「ロード・ボーイ」の4作品の原画を紹介します。

谷口ジロー

1947～2017。18歳まで鳥取で過ごす。その作品はアジア、ヨーロッパ、アメリカ等で広く翻訳・出版され、内外の多くの漫画賞を受賞し、高く評価されている。また、「遥かな町へ」「晴れゆく空」「孤独のグルメ」「神々の山嶺」「事件屋稼業」等、映画化、テレビ・ドラマ化、舞台化された作品も少なくない。

狩撫麻礼

1947～2018。小池一夫の劇画村塾第一期生。1979年に「East of The Sun, West of The Moon」で原作者としてデビュー（絵は大友克洋）。土屋ガロン、ひじかた憂峰等の筆名もある。「ア・ホームズ」（松田優作監督・主演）、「オールド・ボーイ」（パク・チャヌク監督でカンヌ国際映画祭グランプリ）他、映画化された作品も多い。



「LIVE! オデッセイ」©PAPIER

2019年10月1日(火)～10月20日(日)

ギャラリー 鳥たちのいえ 〒680-0031 鳥取県鳥取市本町1丁目201 ミュトスビル
TEL: 0857-51-0710

●10:00～18:00 観覧無料 ●休廊日: 10月7日(月)、15日(火)

ギャラリートーク●10月12日(土) 16:00～17:30

イトウユウ (京都国際マンガミュージアム/京都精華大学国際マンガ研究センター・研究員)

主催: 鳥取県、株式会社ふらり 協力: 双葉社、鳥たちのいえ

